

## 設立趣旨書

川崎市は、工業都市として、また首都圏のベッドタウン、あるいは文教地区として発展し続けてきた。しかしながら、都市開発によって市民の生活が向上する一方、環境を如何に保全していくかが重要な課題となっている。

1982年に、川崎市青少年科学館が登録博物館に指定され、翌年、行政・専門家・市民の協働による「川崎市自然環境調査」が開始された。この長期にわたる調査の担い手として活動を開始した市民ボランティアが、今日の「かわさき自然調査団」である。

草木・鳥・昆虫・クモ・土壌動物・気象・地勢などに大きな関心を持つ様々な立場の市民、概ね100名が「かわさき自然調査団」を組織し、ボランティアとして活動してきた。

活動は、同科学館を拠点とし川崎市全域を調査の対象とし、自然の現状やその変化を記述することに努めてきた。川崎市域には、今でも多様で豊かな自然の生物相に出会える場所がいくつかある。これらの自然を如何に保全して後世に伝えるかは、私たちに課せられた大いなる課題であると感じている。

1983（昭和58）年の第1次川崎市自然環境調査に始まって第5次同環境調査まで、20年間にわたり、継続した調査を3～5年ごとにとりまとめ、川崎市教育委員会として調査報告書を発行してきた。今年3月には、4年間にわたる第5次同環境調査をまとめ、初めて、膨大なデータをCD-ROMに記録して、報告書とした。

活動は、観察、採集、記録、標本作製、分類、分析、報告など多岐にわたり、自然科学各分野の専門家の協力を仰ぎ、同科学館と緊密な連携をとって成果を積み重ねてきた。専門家の指導で研鑽を重ねて高いレベルに達した団員は、同科学館の主催する自然観察会などの講師として川崎市の社会教育普及活動の一翼を担うまでになった。また、同科学館による市民のための展示、印刷物の刊行などにも協力し、同科学館と一体となって、自然環境調査、教育普及活動を進めてきた。蓄積したデータや動植物の標本は、永久保存されるべき市民共有の財産である。

また最近では、川崎市環境局緑政部などとの連携も深め、公園緑地の整備或いは維持管理という現場での調査或いは助言という活動も展開している。

豊かな環境の確保・保全は、これからの大都市における人間社会の潤いと活力のために必要不可欠であり、最も重要な政策課題となるであろう。この環境保全における公共的利益的の担い手として非営利セクターを位置づける法的整備も進みつつある。私たち「かわさき自然調査団」は、こうした時代の潮流を踏まえて、今まで長期に渡って継続してきた調査研究活動に加えて環境保全に関連する様々な場面での計画に対して、積極的かつ自主的に、提案或いは提言するという活動を展開すべきと考えるまでに成長した。

これからは公共的利益的のために、今までの蓄積を活かし、活動の幅を広げて、地域社会に貢献したい。その為に、特定非営利活動法人を設立する。

2003/8/17

## Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation



## A Whisper of Nature

かわさき自然調査団と  
一緒に、川崎の自然を  
見つめていきませんか



## 特定非営利活動法人かわさき自然調査団

事務局 〒216-0002  
川崎市宮前区東有馬1-1-26-702  
電話 090-2171-7214  
Email: npo@konrac.org  
URL: <http://konrac.org/>

特定非営利活動法人  
かわさき自然調査団

# 特定非営利活動法人かわさき自然調査団の概要

## 川崎市自然環境調査・

### かわさき自然調査団の活動の始まり

1982年に川崎市青少年科学館が自然系博物館として登録されたのを契機に、川崎市域の自然を調査・記録するべく、市民ボランティアが募集され、科学館と専門家と市民の協働による自然調査が始まりました。

この自然調査は継続的に実施され、第1次(1988/3)、第2次(1991/3)、第3次(1995/3)、第4次(1999/3)、第5次(2003/3)、第6次(2007/3)、第7次(2011/9)の調査報告書を発行し、現在第8次の調査中です。

### 生田緑地観察会

1998年頃から川崎市青少年科学館が主催する生田緑地観察会が始まり、このガイドを調査団が担当することとなりました。

生田緑地観察会は現在、毎月第1～3日曜日、年間36回、植物、シダ植物、きのこ、昆虫、クモ、野鳥、地層、土壌動物、里山の自然などを対象に、各班がガイドを担当して開催しています。

### 皆でできる自然調査

2002年度から、調査団が市民に呼びかけて実施する自然調査を自主事業として始めました。今までに、セミ、ダンゴムシ、ウグイス、カワセミ、セキレイ3種、松、ホトケドジョウ、樹林などの調査をしています。

この調査は、団員に限らず、誰でも参加できる調査で、川崎市全域の大勢の市民が参加することで市域全体の自然の状態が見えてくると思います。

詳細は事務局に問い合わせてください。また、調査ボランティアに参加してくれる方は事務局までお申出ください。

### 特定非営利活動法人かわさき自然調査団となる

2003年11月26日、特定非営利活動促進法に基づきNPO法人として設立認証を得て、法人登記しました。

### 生田緑地の谷戸の自然保全活動

#### (水田ビオトープ班)

2004年4月からホタルの里の休耕田を田んぼに再生し、里山らしい景観と多様な生物の棲息できる環境の保全を目的に水田ビオトープ班の活動が始まりました。



ミドリシジミ

2004年10月からはホタルの里の最奥部の湿地の再生を始め、2005年5月には2枚目の田んぼを再生し、2006年5月に3枚目の田んぼを再生し、同年12月からはハンノキ林の保全活動に取り組んでいます。

その後は、生田緑地の自然の水辺について在来の生物の棲息環境として保全する活動を展開しています。



#### 里山の自然学校 (水田ビオトープ班)

2005年5月、小学4～5年生を対象とし、身近な自然を体験学習することで自然の見方や接し方を理解し、身近な自然を大切にすることに育ってほしいと願い、里山の自然学校を開校し、今年第10期生を受け入れます。

#### 生田緑地ホタルの国 (水田ビオトープ班)

2005年6月から、生田緑地に生き残った川崎のゲンジボタルの保護のため、川崎市と協働して観賞マナーの向上を図るための活動を始めました。誰でも安全にホタルを観賞できるように案内サイン等の設置、案内パンフレット作成、ホタル観察会開催、ホタル・ガイド・ボランティアのコーディネートなどを行っています。平成22年からは多摩区道路公園センターとの協働として実施しています。

#### 外来生物影響調査

2006年度、川崎市北部地域の公園緑地等における外来生物の調査を川崎市北部公園事務所から受託し、調査しました。

#### 生田緑地自然会議市民部会事務局

生田緑地植生管理協議会は、2006年度に市民部会を設け、実際に現地を見て、考えて、話し合っ、植生管理を計画し、やってみるを基本に、市民と行政の協働による植生管理を進めています。この事務局を当調査団が担当しています。植生管理協議会は2013年3月に自然会議に移行しました。

市民部会は愛称を里山倶楽部とし、市民が生田緑地の植生管理に関われる機会をつくっています。自然を相手にした植生管理は本来は楽しいボランティアであるという発想から、参加者に楽しんでもらえるようにプログラムを工夫しています。

#### 環境省モニタリングサイト1000里地調査

##### 一般サイト・生田緑地調査

2008年6月に生田緑地が一般サイトに登録され、植物相、鳥類、哺乳類、ホタル、水環境、人為的インパクトの6つの調査を実施しています。

#### 団報 A Whisper of Nature

年2回、印刷・発行しています。(事務局担当)

#### メールマガジンの配信

メールマガジン版団報(事務局担当、月1回配信)

生田緑地田圃通信(水田ビオトープ班担当、活動後)

Newsletter from里山の自然学校(同)

生田緑地里山倶楽部通信(同)

配信希望の方はメールで事務局までお申し込みください。

#### 受賞歴

2000/7 川崎市環境功労者表彰

2001/6 神奈川県環境保全功労者表彰

2001/12 安藤為次財団奨励賞受賞

2004/6 市民文化パートナーシップ

かわさき 2003年度顕彰事業受賞

2004/7 川崎市制80周年記念表彰

2004/10 川崎市社会功労賞(川崎市)

2005/3 平成16年度ボランティア活動奨励賞

(かながわボランティア活動推進基金21)

2005/10 神奈川地域社会事業賞

(神奈川新聞社、神奈川新聞厚生事業団)

2013/2 かながわ地球環境賞(神奈川県)

#### 理事 7人

三島次郎(団長)、中臣謙太郎、岩田芳美(事務局長)、吉田多美枝、大貫はるみ、上西登志子、岩田臣生

#### 団員 94人

#### 班と班長

種子植物班(吉田多美枝)、シダ植物班(大貫はるみ)、昆虫班、クモ班(成田和子)、野鳥班(佐野悦子)、地学班(上西登志子)、水田ビオトープ班(岩田臣生)、キノコ班(岡英雄)、水辺調査班(岩田芳美)

#### 入団手続

申込/ 事務局又は各班班長

手続/ ①入団申請書、②年会費 1,000円、団員証に貼付する写真を申込時に撮影させていただきます。

